

卒業生からの意見聴取及びその対応 [令和2年度]

1. 日 時：令和2年12月3日（木）12:45～13:25
2. 意見聴取者：2016年3月卒業生(2名)、2018年3月卒業生、2019年3月卒業生
3. 場 所：愛知工科大学自動車短期大学7号館(7334会議室)
4. 卒業生への質問項目

- ①皆さんが本学に入学してきっかけは何ですか。
- ②在学中に受けた教育内容やサービス等についてよかった点や現在の仕事に活かされている点は何ですか。
- ③この仕事に就いて、一番良かったことは何ですか。
- ④いずれの会社も時代とともに変貌を遂げていますが、入社当時とどのように変わっていますか。
- ⑤実社会の経験から、母校の教育についてどんな知識や技術、人間教育などをしておくべきか教えてください。
- ⑥その他、お気付きのことなど。

5. 聴取した意見

①について

- ・自宅から近く、設備が整っている
- ・自動車整備士資格を取得したかった
- ・車は好きだったことはもちろん、自動車のことを学びたくて入学した
- ・愛知県内で施設が一番良かったから
- ・自動車メーカーの偏りがなく技術が学べるため
- ・1級課程へ編入学できるシステムがあるため

②について

- ・自動車の故障探究を学べたことで、入社直後から仕事に活かすことができた
- ・国家資格取得への特別授業等の勉強
- ・1級課程ではより実践的な教育指導が受けられた
- ・計測器やリフトの使い方など仕事に大いに役立っている
- ・部品単体が各テキストで分かりやすく説明されている

③について

- ・実際に修理した時にお客様から“ありがとう”と言って感謝されること
- ・社会の一員として機能している充実感
- ・自分のクルマが故障しても直せる整備技術が身についたこと

④について

- ・お客様の層の変化や車種のラインナップの増加
- ・若いメカニックが減少している
- ・接客が上手くなりました
- ・給与の方針が少し変わった
- ・整備の動き方が統一された
- ・暑さ・寒さの対策に力を入れるようになった

⑤について

- ・どんな小さなこともお礼の気持ちを持つことです
- ・計測はできるようにしてください
- ・先生方の経験談が意外とためになっている
- ・社会人としての最低限のマナーと礼儀を身につけさせてほしい
- ・基本整備を徹底的にできるようにする
- ・怒られた時の心の持ち方など精神面を鍛えてください

⑥について

- ・学食が進化していて羨ましい
- ・日産学園出身者と比べて、確実にレベルの高いことを学べたと自信を持って言える

6. 意見に対する本学の対応

- 1) 学生生活が充実するよう今後もキャンパス整備に心掛けて参ります。
- 2) 提供する教育カリキュラムを見直し、卒業生が自信をもって社会に巣立てるように指導を続けます。
- 3) 基本的な整備作業を疎かにしないよう取り組みます。
- 4) 自動車整備士の社会的使命の重要性をしっかりと指導して参ります。

以上